

2019 年度

(2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで)

事業報告

公益財団法人 新日本先進医療研究財団

目次

第1 事業の状況

第2 事業の成果

1. 助成金の交付
 - (1) 助成金の対象
 - (2) 助成金額
 - (3) 平成31年度受賞者

第3 管理事項

1. 理事会
 - (1) 平成31年度第1回理事会
 - (2) 平成31年度第2回理事会
 - (3) 平成30年度第3回理事会
 - (4) 平成31年度第4回理事会
2. 評議員会
 - (1) 平成31年度第1回評議員会

第1 事業の状況

今年度の事業は、がん及び生活習慣病に関する先進医療研究分野に関する研究者及び研究機関に対して助成金を贈呈する為、令和元年度第5回助成金応募を7月より行い、同年12月に24名の受賞者を決定、助成金を交付した。なお、今年度は「がん」に関する研究に限定、助成金額を1件あたり100万円～200万円、総額3,000万円の助成を決定した。

第2 事業の成果

1. 助成金の交付

がん及び生活習慣病に関する先進医療分野の研究者及び研究機関に対し、研究助成金を交付。

(1) 助成対象

がん及び生活習慣病に関する先進的な研究の、国内において従事する研究者または研究機関が行う研究で、その成果ががん及び生活習慣病研究の進歩、発展に著しく貢献すると考えられるもの。

なお、平成30年度の募集は、「がん」に関する研究に限定した。

(2) 助成金額

1件あたり100～200万円を上限として支給

(3) 令和元年度助成金受賞者

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 令和元年度（第5回）研究助成金受賞者

氏名	所属機関	研究題目
阿部 俊也	九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科	次世代シーケンスを用いた膵癌の発癌・治療抵抗性に関する細菌叢の同定とその応用
飯森 真人	九州大学大学院 薬学研究院 抗がん剤育薬共同研究部門	抗がん剤が誘導する細胞老化を治療標的にする学術的基盤の確立

磯部 大地	九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科	新規疾患モデルを用いた染色体変異による大腸発がんメカニズムの解明
伊藤 修平	公立学校共済組合 九州中央病院・消化器外科	大腸癌の遠隔転移切除後の予後層別化モデルの構築と治療戦略の開発
岩見 真吾	九州大学大学院大学理学研究院・生物科学部門	HTLV-1 感染クローンの多型進化の定量化と感染キャリアの病態予測技術への応用
大浜 剛	山口大学・共同獣医学部	創薬標的としてのがん幹細胞性の維持機構の解明
塩田 拓也	宮崎大学 テニユアトラック推進機構	次世代創薬によるピロリ菌のがん化促進毒素 VacA の分泌阻害剤探索
柴田 健輔	山口大学大学院医学系研究科 ゲノム・機能分子解析学講座	全ての大腸ガン患者の治療を目的とした免疫療法の開発
神力 悟	熊本大学大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座	ホモティピック CTC クラスター形成機構から迫る転移機構の解明と新規治療戦略の創出
杉尾 健志	九州大学病院・遺伝子細胞療法部	末梢性 T 細胞リンパ腫における微小環境因子の機能解析に基づいた新規治療戦略の開発
杉本 のぞみ	九州大学大学院 薬学研究院 医薬細胞生化学分野	リボソーム病原因子 RPS17 による新規がん抑制機構の解明
高木 秀明	宮崎大学医学部・医学科感染症学講座免疫学分野	形質細胞様樹状細胞を標的とした免疫チェックポイント阻害剤の開発
塚本(栗井)博丈	熊本大学大学院 生命科学研究部 免疫学分野	PD-1 阻害療法による免疫関連有害事象の発症メカニズムの解明と、がん免疫療法への応用
原田 和人	熊本大学病院・消化器外科	食道胃接合部癌の抗癌剤耐性メカニズムの網羅的解析

平野 敦士	九州大学医学部 病態機能内科学	膵癌に対する新規腫瘍溶解性ウイルス免疫療法の開発
藤井 慎介	九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座・口腔病理学分野	Wnt シグナル下流癌抑制遺伝子を分子標的とした新規唾液腺腫瘍治療法の開発
淵上 剛志	長崎大学・薬学部・衛生化学分野	膵臓癌の早期診断や効果的治療を目的としたナノボディ修飾金ナノ粒子薬剤の開発
宮脇 恒太	久留米大学医学部 病理学教室	難治性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する新規治療標的の探索
森 康雄	九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科	CD35 陽性白血病幹細胞の機能解析と治療標的候補分子の抽出
森嶋 達也	熊本大学国際先端医学研究機構	既存治療耐性クローン根絶を志向した IDH 変異白血病新規治療法の開発
森田 康之	熊本大学・大学院先端科学研究部	がんの浸潤・転移を支配するがん細胞－細胞外基質の力学的相互作用の解明
八尾 尚幸	九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門 がん幹細胞医学分野	骨髄微小環境の加齢性変化と多発性骨髄腫発症の関連性についての基礎研究
安河内(川久保)友世	福岡大学 薬学部 統合臨床医学講座 免疫・分子治療学分野	胎生期栄養環境によるエピゲノム制御とがん発症素因形成の分子基盤の解明
楊井 伸浩	九州大学・大学院工学研究院 応用化学部門 生体機能化学講座	迅速な MRI がん診断を可能にする室温超核偏極法の開発

第3 管理事項

1. 理事会

(1) 平成31年度第1回理事会

開催方法：決議の省略の方法（平成31年2月2日提案書発送）

決議事項

第1号議案 平成30年度事業報告および計算書類等承認の件

平成30年度事業報告、収支決算、財産目録、監査報告を添付資料のとおりとすること

第2号議案 第5回定時評議員会招集決定の件

第5回定時評議員会を下記のとおり開催すること

1 日時 平成31年2月22日（金）17時

2 場所 センチュリー赤坂門ビル9階（福岡市中央区赤坂1-14-22）

3 目的事項

（決議事項）

第1号議案 平成30年度事業報告および計算書類等承認の件

第2号議案 理事1名の任期満了に伴う再任の件

審議結果：提案された議案につき、書面により、理事全員からの同意の意思表示を、
また監事から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第36条の規定に基づき、
理事会の決議があったものとみなされた。

理事会の決議があったものとみなされた日：平成31年2月7日

(2) 平成31年度第2回理事会

開催日：平成31年2月22日

開催場所：センチュリー赤坂門ビル9階 会議室

出席者：理事4名（総数4名）監事1名（総数1名）評議員3名（総数3名）

議案：

第1号議案 常務理事選定の件

審議結果：審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。谷 憲三朗氏を常務理事
に選定。

第2号議案 新株予約権行使及び資金調達の件

審議結果：審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

報告事項：理事長、常務理事より、定款第25条第3項に基づき、職務執行状況の報告が行われた。

(3) 平成31年度第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法（令和元年6月13日提案書発送）

決議事項

第1号議案 新日本製薬株式会社、株式一部売却の承認の件
所有している新日本製薬株式会社株式を一部売却し財団運営資金とする。
審議結果：審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

第2号議案 選考委員の委嘱期間満了に伴う再任の件
選考委員の委嘱期間満了につき、現任の選考委員を再度選任する。
審議結果：審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

(4) 令和元年度第4回理事会

開催日：令和元年11月11日

開催場所：センチュリー赤坂門ビル9階 会議室

出席者：理事4名（総数4名） 監事1名（総数1名） 評議員3名（総数3名）

議案：①令和元年度の助成金採択者の件
②令和2年度事業計画及び予算案の承認の件
③令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて

審議結果：提案された3件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

報告事項：理事長、常務理事より、定款第25条第3項に基づき、職務執行状況の報告が行われた。

2. 評議員会

(1) 平成31年度第1回評議員会

開催日：平成31年2月22日

開催場所：センチュリー赤坂門ビル9階 会議室

出席者：評議員4名（総数4名） 理事3名（総数3名） 監事1名（総数1名）

議案：①平成30年度事業報告及び計算書類等承認の件
②理事の任期満了に伴う再任の件

審議結果：提案された2件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

理事 谷 憲三朗（再任）